

アフターコロナの「神田ウォーカブル」の実現に向けた調査・アクション・提案

神田ウォーカブル研究会：
 研究代表者：泉山 暲威・日本大学理工学部建築学科助教
 共同研究者：菅原 遼・日本大学理工学部海洋建築工学科助教
 中島 伸・東京都市大学都市生活学部准教授



目的

- ・千代田区都市計画マスタープランにウォーカブルを位置付け (2021)
- ・千代田区ウォーカブル戦略検討会で議論 (2021-)
- ▶新しい神田のライフスタイルと都市のビジョンと実践が必要
- アフターコロナの「神田ウォーカブル」の実現に向けた調査・アクション・提案を行うことを目的とする

研究内容・結果

1) 神田ウォーカブル調査 (調査)

- ・ITDP (米国・公共交通政策研究所) の Pedestrian First によるウォーカブル指標の検討
- ・ウォーカブル指標に基づく神田ウォーカブル調査 (一部神田対応)
- ・ヘルスケア調査 (神田独自)
- ・神田都市文脈調査 (神田独自)
- ▶内神田エリア・錦町エリアにおいて神田ウォーカブルの調査実施
- ▶現状評価及び可能性と課題の抽出 ▶提案への接続

2) Park(ing)Dayの企画・実践 (アクション)

- ・Park(ing)Day2021 神田の実施 (10/20)、車道及び路上駐車場の道路空間活用
- ▶道路空間活用 (特に車道の路肩、路上駐車場) における可能性と課題の抽出、歩車共存道路の可能性の議論への接続

3) Park(ing)Day実施による評価 (評価)

- ・Park(ing)Day2021 神田のアクティビティ/アンケートの評価
- ▶コロナ禍ながらも平常時と比べ滞留行動の増加 (特に会話)、緑・ベンチなどの屋外空間のニーズの確認

4) ワークショップによるビジョンに向けた議論 (ビジョン)

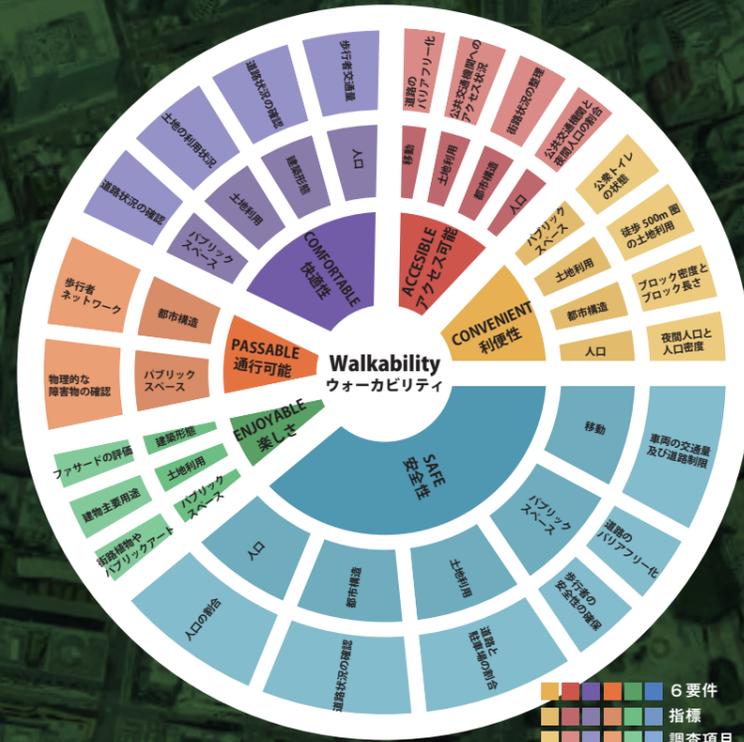
- ・地域関係者が参加し、神田ウォーカブルのニーズ・課題を把握
- ▶緑、休憩場所に対するニーズ、个性的店舗、目的地が必要などを確認

5) 公開シンポジウムによる成果発表とビジョンに向けた議論・発信・共有

- ・最新のウォーカブル講演 (2/7、3/15)
 山崎満広氏 (Mitsu Yamazaki LLC) / 永野真義氏 (東京大学助教)
 山口敬太氏 (京都大学准教授)
- ・調査・アクション・提案の報告と今後のビジョンに向けた議論
- ▶海外都市 (ポートランドなど) によるウォーカブル都市の研究
- ▶上野・ガイトウスタンド事例による歩車共存道路の可能性の議論
- ▶これまでの調査を踏まえた神田ウォーカブルに関する学生提案

まとめ

本研究成果は、今後の神田ウォーカブルの調査研究の基礎的な調査と、Park(ing)Day2021 神田による歩車共存道路の可能性の検討、提案では、道路、路地、駐車場、公開空地、またランニングの視点からの提案をブレストし、今後のエリアビジョンの検討や議論の参考素材となる知見が得られた。



ウォーカブル指標ダイアグラム



神田ウォーカブル調査



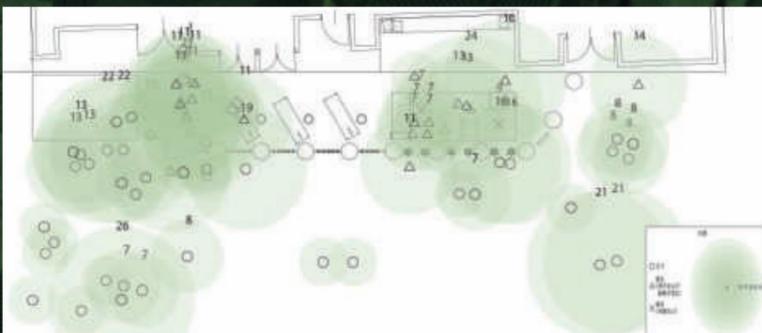
Park(ing)Day2021 神田 (内神田エリア)



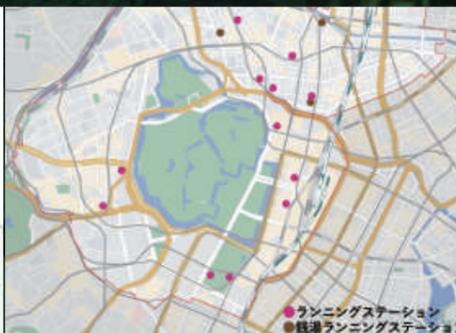
地域関係者ワークショップ (11/29)



神田ウォーカブル研究会シンポジウム



Park(ing)Day2021 神田の評価



ヘルスケア調査



神田都市文脈調査 (路地)